

# 腎移植レシピエントコーディネーター

## —当院での設置背景と活動の実際—

野口 文乃\*

### 1.はじめに

当院では、それまでの兼任コーディネーター(兼任 Co)に加え、新たにH20年より、専任の腎移植レシピエントコーディネーター(RTC)を導入し、移植患者の継続ケアの充実と、移植医療チームの連携強化を図っている。

### 2.専任レシピエントコーディネーターの設置

#### 1) 所属

初年度(H20.6.1~H21.3.31)、看護部外来泌尿器科所属に配属。外来看護師の日常業務(日当直勤務等)の拘束はない。外来での業務は、週2回の移植外来の面談業務と臨時的な外来移植患者対応のみを行い、勤務形態はフレックスタイムで、業務(外来・病棟)に合わせて勤務を遂行する。H21.4月より、移植医療支援室所属となる。

#### 2) 兼任コーディネーターとの連携とRTCの役割

それまでの兼任 Coによる、電話相談、献腎移植登録業務、患者データ管理、普及啓発活動(腎移植懇談会・桜祭り・患者会等)に加え、新たに患者継続ケアを担当し、患者が腎移植を希望した(外来初診)その時点から、移植手術を受け(病棟入院中)退院し、移植後の社会復帰した中で(継続外来)の長期継続ケアを実施し、移植医療が円滑に行え、患者支援、移植医をはじめ、外来・病棟看護師、MSW、リエゾンナース、移植医療支援室など、移植医療チーム内の連絡・調整を行い、兼任 Coとの役割分担、連携を図り、患者中心の腎移植のコーディネートを行う。

兼任RTCと専任RTCの業務内容

|     | 兼任RTC  | 専任RTC   |
|-----|--|---|
| 献腎  | 予約受付(相談を含む)→登録説明→ネットワーク登録、データ管理                                      | 情報発生時より関わり開始  |
| 生体腎 | 予約受付(相談を含む)  | 外来→病棟→外来<br>初診→術前→検査→術後病棟管理→再診(移植外来)<br>データ管理・継続ケア            |
| その他 | 腎移植懇談会開催<br>患者会サポート(事務補助)<br>臓器移植普及啓発活動<br>病院ニュースへの投稿<br>院内移植チームの懇親会 | 外来・病棟看護師とのミーティングや勉強会<br>RTC(院内)ミーティング<br>他施設との連絡・調整<br>MSWの連携 |

看護師とRTCの業務比較

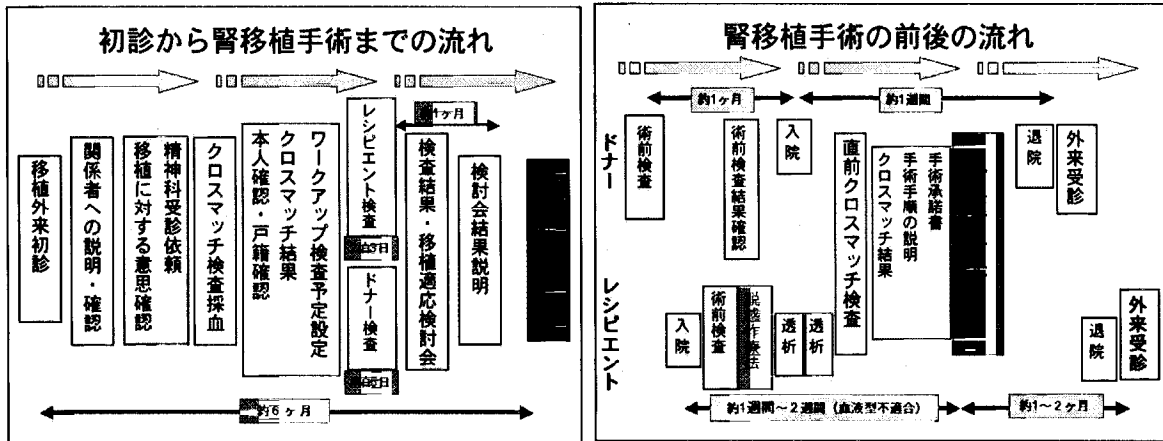
|                       | 外来看護師                  | 病棟看護師   | 移植コーディネーター   |
|-----------------------|------------------------|---|--|
| 移植前                   | 泌尿器科外来患者対応             |   | 移植情報提供<br>患者基礎情報作成<br>外来看護師への情報提供  |
| 移植手術<br>周術期           |                        | 入院患者対応<br>移植受持看護師<br>看護計画に基づく<br>直接ケア<br>家族サポート | 病棟看護師への情報提供<br>IC同席<br>患者状態アセスメントと<br>治療計画・看護計画把握<br>家族サポート<br>外来看護師への情報提供 |
| 回復期                   |                        | 個別退院指導<br>退院サマリー                                | 患者状態アセスメントと<br>治療計画・看護計画把握<br>統合的退院指導<br>外来シミュレーション                        |
| 移植後長期<br>フォローアップ<br>期 | 泌尿器科外来患者対応<br>緊急入院申し送り | 入院患者対応  | 退院指導評価<br>患者状態アセスメント<br>生活指導   |

\*北里大学病院 看護部 移植医療支援室 レシピエント移植コーディネーター

### 3. 活動内容

レシピエントコーディネーターの活動には図1の流れに沿い、外来業務、病棟業務、その他、移植医療チームのコーディネート業務を実施している。

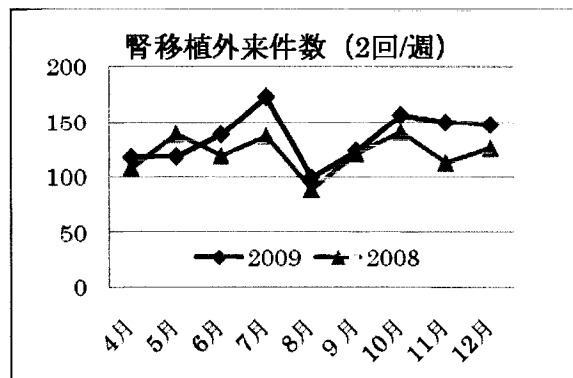
図1：北里大学病院の生体腎移植移植の流れ



#### 1) 外来業務

移植外来は週に2回、月に100～150件。(図2) 生体腎移植希望患者、献腎移植新規登録患者・献腎待機患者、移植後レシピエント、移植後ドナーなどが、1日10～40件受診する。RTCは、その診察前、又は診察後に面談を行い、移植前の情報提供や意思決定の支援、移植後の食事・服薬・生活指導を実施する。また、臨時受診対応や電話相談、他科受診など、腎移植の経過中いつでも、継続して関わってくれる存在として、腎機能などの身体的な問題のみならず、精神的な継続ケアを行うこともRTCの重要な役割である。

図2



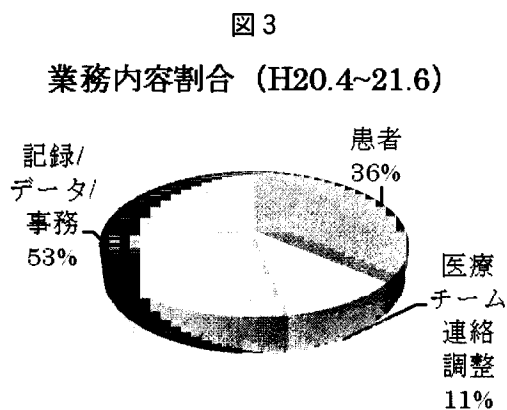
#### 2) 病棟業務

現在、献腎移植に加え、生体腎移植は1～2件/月が行われ、入院患者数は3～5名。病棟での主な役割は、外来と病棟を繋ぐことであり、外来受診→入院生活→社会生活の中での継続ケアと、自分の移植の経過を知っている存在が、継続して関わりを持つという安心感を与えることができる。また、患者と移植医間、移植医と看護師間、そして外来看護師と病棟看護師間の連絡・調整を図り、実際には、退院生活指導を中心に、それぞれ連絡・調整した情報から、より具体的な患者指導を実施、更にそれを外来に継続し、移植患者の自己管理継続への支援へと繋げている。

### 3) コーディネーター業務

RTCとして移植医療チーム内の連携強化に力を入れ、それぞれが円滑に業務を遂行でき、

チームとして機能できるように、連絡・調整を図っている。業務割合は、図3の通りであり、チーム内の連絡・調整は約10%である。その他、院内のRTC(肝Co間)との学習、院内各Coとの連絡会などの活動や移植関連学会、研究会への参加、H21年より神奈川腎移植レシピエントコーディネーターを立ち上げ、神奈川県での移植医療・移植看護の質の向上を目指し、活動を開始した。



### 4. おわりに

今後は、施設内でのRTCの役割と活動の明確化を図ることで、当院での移植医療への理解と関心を高め、その中で更に、移植医療チームの連携強化を図りたい。